

【アイデア部門】

ビジネスプラン賞 前川 浩一

指先の文字等を読み上げるデバイス

視覚障害者は生活の様々な場面で「見えない、見えにくい」場面があります。iPad等で拡大すれば見える場面もありますが、手間だったり、周辺環境で使用できない場面もあります。

そこで新デバイスの提案です。

指先に「指サック」状の文字読み取り専用の小型のカメラをつけ、イヤホンと無線でつなげることで、カメラで認識された文字を読み上げてくれるというものです。

例えば、以下のような場面での音声読み上げで効果があると思います。

- ◆コンビニに陳列してあるおにぎりの「具」が何か、「梅」「しゃけ」「ツナマヨ」等の商品名
- ◆自販機の商品名が何か、「コーヒー」「水」「紅茶」「お茶」等の商品名
- ◆賞味期限
- ◆書類等
- ◆飲食店のメニュー
- ◆ホテル等でのエアコン制御（「ON」「OFF」、室温が何度か）、シャンプー等の種別

指先を読み上げてほしい方に向けてそれを読み上げてくれれば、上記のような場面での判断ができるようになりますし、その他、文字が記載されているあらゆる場面でサポートしてくれると思います。読み取り範囲を「広め」か「ピンポイント」か等、変更できるとよりよいと思います。

またこれらは視覚障害者以外に、老眼の方等多くの方にも有用と思います。

既存の技術で実現可能と思いますので、是非商品化につなげていければと思います。

審査員コメント

具体的で実用的です。商品の表示の文字は、小さくて読みにくいので、音声で読み上げれば簡単に確認が取れると思います。そして、老眼の方も活用することができるアイテムですね。

世の中にある文字情報を、まるで点字を読むように指先を当てて読み上げることができるデバイス、ぜひとも実現してほしいです！実現されたら絶対に買います。



前川 浩一

- ・1999年 早稲田大学卒業
- ・2014年 「網膜色素変性症」と診断される
- ・2018年 「錐体・桿体ジストロフィー」と診断される
- ・2019年 『isee! "Working Awards2019"』「アイデア部門：入選」
- ・2020年 『isee! "Working Awards2020"』「事例部門：入選」
- ・2021年 『isee! "Working Awards2021"』「アイデア部門：入賞(ビジネスプラン賞)・入選」
- ・2022年 『isee! "Working Awards2022"』「アイデア部門：入選2件」
- ・2023年 『isee! "Working Awards2023"』「アイデア部門：入賞(環境整備賞)」
- ・現在、事業会社で経理業務に従事(管理職)
- 「情報セキュリティー」の観点から、会社貸与の「iPad Pro」を拡大読書器代わりに業務で使用。